

野党「保守系」が動く

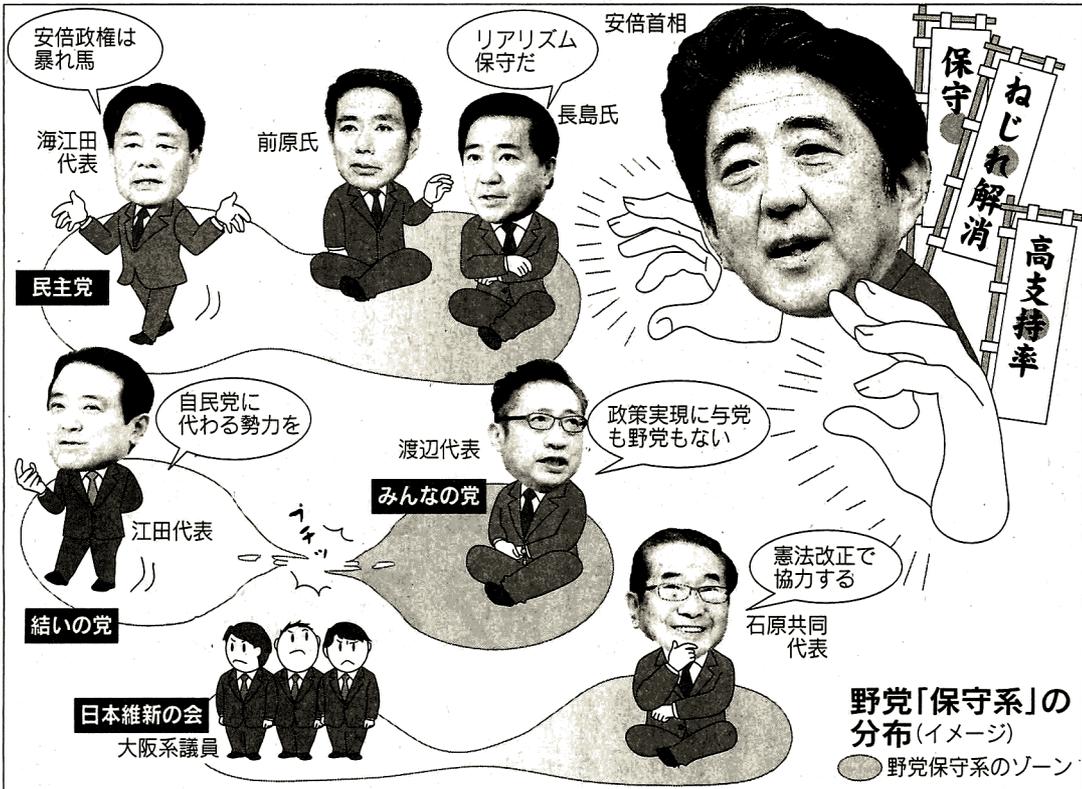
現実路線 政権に接近 信条で共鳴

野党内で「保守」を主張する議員グループの動きが目立ってきた。政権と対決路線を敷く一般の野党像とは一線を画す。安倍晋三首相が進める政策と方向性で一致するところが多く、安全保障政策や将来の政界再編のカギを握る可能性も出てきた。なぜ野党で保守なのか、その背景を探る。(黒沼晋、辻隆史)

■集団的自衛権を重視

「この議員連盟のコンセプトは『リアリズム(現実主義)』。リアリズムに基づいた提言をしよう」。20日に国会内で開いた野党超党派議連「外交・安全保障政策研究会」の役員会。会長を務める民主党の長島昭久元防衛副大臣がこう宣言すると、賛同する声が続々と上がった。

議連は安全保障政策に積極的な野党議員約50人が参加。集団的自衛権の行使を容認する基本法案の提出をめざしている。同盟国などが攻撃されたとき、自国への武力行使とみなして反撃できる権利をめぐり「国際法上保有するが、憲法上行使できない」としてきたのが従来の政府見解。安倍政権はこの憲法解釈を変更する方針だが、野党の議連は法律によって行使容認を明確に規定すべきだと主張する。



安保政策・政界再編のカギ

▼保守 一般に既存の価値観や伝統、慣習などを守っていることとする立場。急進的なフランス革命に異を唱えた18世紀の英国思想家バークの考え方が保守主義の理論的基盤とされる。「リベラル保守」宣言の著書がある北海道大大学院の中島岳志准教授は「人間は不完全な存在」と考え、理性を超えた歴史的経験知や良識を頼りにするのが保守。そのうえで社会変化に



野党「保守系」の対応が注目される主なテーマ

- 集団的自衛権の行使容認
- 政府は憲法解釈を変更する方針。野党保守系は基本法制定を主張
- 憲法改正
- 首相は改憲に意欲。維新・みんなは賛同する一方、民主内には賛否両論
- 教育委員会改革
- 与党は首相の権限を強める改革案で大筋合意。維新は教育委廃止を主張
- 靖国神社参拝
- 首相は昨年末に「英霊に尊崇の念を表す」と参拝。維新は評価

度予算が衆院を通過した2月28日。みんなの党の渡辺喜美代表は国会内の控室にあきつに訪れた首相を迎えようと、満面の笑みで握手を交わした。これに先立つ23日の党大会では「みんなの党は保守の政党だ」と宣言。みんなから分裂して誕生した結いの党の江田憲司代表は「渡辺氏から『保守』という言葉聞いたことがない」と驚いてみせた。

野党超党派議連「外交・安全保障政策研究会」の会長を務める長島昭久氏に話を聞いた。

――民主党執行部がリベラル色を強めているとの指摘があります。

――「自民党の逆を張って政権を取ったが、特に安保政策で整合性がつかなくなり混乱した。執行部方針は政治学としては理解できるが、同じ轍(てつ)を踏むのかという思いはある」

――安倍政権のやっていることは全部ダメという議論にはくみしない。左にも右にもくみしなければ、ど真ん中が浮き上がってくる

――超党派議連が見据えるものは、

――「民主党だけで単独政権はできない。野党を結束する必要がある。一定の幅の中で再編しないと(民主党政権時代と)同じようなことに陥る。糾合した野党の外交・安保政策はこれだといつもを今から準備しておきたい。過激保守でも信条保守でもない。リアリスト保守だ」

――野党の一部には自民党と連携するほうが政策を実現しやすいとの意見もありますが、

――「僕は政権交代を捨てていない。自民党から誘われても行かない」

――長島昭久氏のインタビューを電子版に掲載▼

Web刊↓紙面連動

▼保守 一般に既存の価値観や伝統、慣習などを守っていることとする立場。急進的なフランス革命に異を唱えた18世紀の英国思想家バークの考え方が保守主義の理論的基盤とされる。「リベラル保守」宣言の著書がある北海道大大学院の中島岳志准教授は「人間は不完全な存在」と考え、理性を超えた歴史的経験知や良識を頼りにするのが保守。そのうえで社会変化に

度予算が衆院を通過した2月28日。みんなの党の渡辺喜美代表は国会内の控室にあきつに訪れた首相を迎えようと、満面の笑みで握手を交わした。これに先立つ23日の党大会では「みんなの党は保守の政党だ」と宣言。みんなから分裂して誕生した結いの党の江田憲司代表は「渡辺氏から『保守』という言葉聞いたことがない」と驚いてみせた。

野党超党派議連「外交・安全保障政策研究会」の会長を務める長島昭久氏に話を聞いた。

――民主党執行部がリベラル色を強めているとの指摘があります。

――「自民党の逆を張って政権を取ったが、特に安保政策で整合性がつかなくなり混乱した。執行部方針は政治学としては理解できるが、同じ轍(てつ)を踏むのかという思いはある」

――安倍政権のやっていることは全部ダメという議論にはくみしない。左にも右にもくみしなければ、ど真ん中が浮き上がってくる

――超党派議連が見据えるものは、

――「民主党だけで単独政権はできない。野党を結束する必要がある。一定の幅の中で再編しないと(民主党政権時代と)同じようなことに陥る。糾合した野党の外交・安保政策はこれだといつもを今から準備しておきたい。過激保守でも信条保守でもない。リアリスト保守だ」

――野党の一部には自民党と連携するほうが政策を実現しやすいとの意見もありますが、

――「僕は政権交代を捨てていない。自民党から誘われても行かない」

――長島昭久氏のインタビューを電子版に掲載▼

Web刊↓紙面連動

野党超党派議連「外交・安全保障政策研究会」の会長を務める長島昭久氏に話を聞いた。

――民主党執行部がリベラル色を強めているとの指摘があります。

――「自民党の逆を張って政権を取ったが、特に安保政策で整合性がつかなくなり混乱した。執行部方針は政治学としては理解できるが、同じ轍(てつ)を踏むのかという思いはある」

――安倍政権のやっていることは全部ダメという議論にはくみしない。左にも右にもくみしなければ、ど真ん中が浮き上がってくる

――超党派議連が見据えるものは、

――「民主党だけで単独政権はできない。野党を結束する必要がある。一定の幅の中で再編しないと(民主党政権時代と)同じようなことに陥る。糾合した野党の外交・安保政策はこれだといつもを今から準備しておきたい。過激保守でも信条保守でもない。リアリスト保守だ」

――野党の一部には自民党と連携するほうが政策を実現しやすいとの意見もありますが、

――「僕は政権交代を捨てていない。自民党から誘われても行かない」

――長島昭久氏のインタビューを電子版に掲載▼

Web刊↓紙面連動

4日の民主党「次の内閣」の国会。前原誠司元外相は党執行部が提示した集団的自衛権の憲法解釈変更をめぐる資料に反発し、席を立った。

重ねてきた憲法解釈を恣意的に変更することは許されな

更が重ねられてきたとして「これまでの歴史を否定し

「賛成できませんで、大変失礼しました」。2014年

度予算が衆院を通過した2月28日。みんなの党の渡辺喜美代表は国会内の控室にあきつに訪れた首相を迎えようと、満面の笑みで握手を交わした。これに先立つ23日の党大会では「みんなの党は保守の政党だ」と宣言。みんなから分裂して誕生した結いの党の江田憲司代表は「渡辺氏から『保守』という言葉聞いたことがない」と驚いてみせた。

野党超党派議連「外交・安全保障政策研究会」の会長を務める長島昭久氏に話を聞いた。

――民主党執行部がリベラル色を強めているとの指摘があります。

――「自民党の逆を張って政権を取ったが、特に安保政策で整合性がつかなくなり混乱した。執行部方針は政治学としては理解できるが、同じ轍(てつ)を踏むのかという思いはある」

――安倍政権のやっていることは全部ダメという議論にはくみしない。左にも右にもくみしなければ、ど真ん中が浮き上がってくる

――超党派議連が見据えるものは、

――「民主党だけで単独政権はできない。野党を結束する必要がある。一定の幅の中で再編しないと(民主党政権時代と)同じようなことに陥る。糾合した野党の外交・安保政策はこれだといつもを今から準備しておきたい。過激保守でも信条保守でもない。リアリスト保守だ」

――野党の一部には自民党と連携するほうが政策を実現しやすいとの意見もありますが、

――「僕は政権交代を捨てていない。自民党から誘われても行かない」

――長島昭久氏のインタビューを電子版に掲載▼

Web刊↓紙面連動

野党超党派議連「外交・安全保障政策研究会」の会長を務める長島昭久氏に話を聞いた。

――民主党執行部がリベラル色を強めているとの指摘があります。

――「自民党の逆を張って政権を取ったが、特に安保政策で整合性がつかなくなり混乱した。執行部方針は政治学としては理解できるが、同じ轍(てつ)を踏むのかという思いはある」

――安倍政権のやっていることは全部ダメという議論にはくみしない。左にも右にもくみしなければ、ど真ん中が浮き上がってくる

――超党派議連が見据えるものは、

――「民主党だけで単独政権はできない。野党を結束する必要がある。一定の幅の中で再編しないと(民主党政権時代と)同じようなことに陥る。糾合した野党の外交・安保政策はこれだといつもを今から準備しておきたい。過激保守でも信条保守でもない。リアリスト保守だ」

――野党の一部には自民党と連携するほうが政策を実現しやすいとの意見もありますが、

――「僕は政権交代を捨てていない。自民党から誘われても行かない」

――長島昭久氏のインタビューを電子版に掲載▼

Web刊↓紙面連動